

第24組 広報

発行日
2017年1月1日
第175号
発行責任者
組長 美濃部俊裕

新しい年を迎えるにあたって



組長 美濃部 俊裕

明けましておめでとうございます。昨年は組事業にご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。

昨年度の組同朋大会では、これまでの歩みを振り返り、今後の寺や組のあり方を考えました。それを受けて、今年度の同朋大会については、プロジェクト24から出されたアイデアを元に計画を進めています。プロジェクト24は、若い世代の発想を大切にしようとして設置しました。時代が大きく変わっていく中で、時代に即した活動を考える必要があります。各お寺からも是非加わってください。

今年の同朋大会は「同朋のつどい」として、木之本スティックホールで開催します。開会のお勤め導師は、土曜日曜学校の子どもたちにもしてもらいます。講演は女性僧侶の川村妙慶さんです。同朋新聞「ミカタがカワル」を担当され、ラジオ放送のアナウンサーとしてもご活躍中です。また、子どもたちが楽しめる活動やお念珠づくりを計画しています。多くの方々に参加いただき、組やお寺の取り組みが豊かに広がることを期待します。今から6月11日を予定に入れていただくようお願いいたします。

昨年は、教区の合唱団「花あかり」30周年記念大会が行われ、本山では両堂等御修復事業完了の音楽法要が行われるなど仏教讃歌が注目されています。歌う人にも聴く人にも感動を与え、讃歌を通じて親鸞聖人の教えに触れる機会となっています。「同朋のつどい」でも合唱をします。各寺でも歌っていただき、組の練習にもお気軽にご参加いただきたいと思います。

組では、本山のご協力により「元気なお寺づくり講座」に取り組んでいます。住職、坊守と門徒が集い、お寺の未来について考えています。3月まで計5回が実施され、いずれ成果等についてお知らせします。本年もどうぞよろしくお願いたします。

門徒会上山奉仕報告

伊香 浩(樹徳寺門徒)



当日本山御影堂門を通り抜け、そこには修復完工した御影堂、阿弥陀堂が目に入り荘厳な両堂の姿に感動しました。

同朋会館講堂にて開催された奉仕団結成式での研修部長の挨拶で、全国各地から120名余りの方が参加されたが、同じメンバーで一緒になる事は二度とないその大切な時間、人生の仕切り直しの機会の場になればとっておられた。

今回参加し両堂参拝やおみがき、講義座談会を通して感じたことは、親鸞さまが教えて下さった浄土真宗は阿弥陀様の

本願を信じ念仏申せば仏となるという念仏の教えです。毎日の何気ない生活、朝起きてご飯を食べ仕事をして帰宅し、夜寝床に就くという当り前の事こそ感謝しなければならないのです。どんな小さな出来事にも感謝の気持ちから南無阿弥陀仏と手を合わせると言うことが大事なのです。そして報恩感謝の気持ちを忘れずに日々送らせていただきたいと思います。今回の2日間門徒会の皆さんとの有意義な出会いに感謝、南無阿弥陀仏。

今年も平穏な年になりますように

門徒会会長 安居 重晴



皆様には、新たな気持ちで新年をお迎えになられた事とお喜び申し上げます。

昨年は、世界各地で気候変動に伴う水害や、地震により多くの尊い命が奪われ、大きな被害が起きました。毎年こうした大きな災害が発生し多くの方が家を失い、幸せに暮らしていた家庭も壊された中で、懸命に再興させるために生きておられる姿を見るたびに心を打たれます。

さて、24組も過去の活動を振り返り、これからの「寺・組のあり方」を現有の潜在力を大切に、門徒や地域社会が求めていることを共創してゆくことの必要性を学び、地域密着型の教化活動を展開する方針の下で推進されているところであります。

客観的な評価として、24組各寺には協力的な門徒さんがおられ、全国的にも稀にみる、機会に恵まれた組であるが、その機会（宝庫）に気づいていない。そして、昔から変化しない寺業のあり方が課題である。という見方もあります。（元気なお寺づくり講座にて）このことをつぶさに考えますと、縦の情報や連絡はできているが、横の情報が途絶えていて、参加される方が限定してしまっている。逆に考えると、地域社会や時代の流れと寺業の乖離により関心や魅力が薄れてきている様に思われます。親子で参加するお寺の活動、子育ての悩みや、地域社会での問題などを語り合えるような機会を作り、若い世代の方にも参加いただけるような開法の仕組みをこれからも考えてゆくことが大切であると思います。「プロジェクト24」がスタート致しました。若い方達を先導に様々な改革が提案され、本年の同朋の集いは宗派を問わず、親子で参加する、地域ぐるみの公開事業として開催される運びになっています。ご期待頂き、ご意見もお寄せいただければ有難いことで御座います。

末筆ながら、本年も皆様にとって平穏な良い年になります様祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。合掌

婦人会上山奉仕報告

西川 広子(恩覚寺門徒)

11月5日、6日と本廟奉仕に参加させていただきました。50年前に建てられた同朋会館ですが、「同朋会館はみなさんの生活の場です。皆さんで維持して、前の方の積み重ねで50年間保っています。」とご指導をしていただき補導の西堀先生の言葉通り、とても美しくきちんと整理されていました。

今回の参加者は8団体99名で、茨城や名古屋などから参加されていました。結団式では「ご奉仕は一期一会であり、自分を見つめなおす機会に」というお話があり、こころ引き締まる気持ちでスタートしました。100名での勤行は、とてもこころを揺さぶられるものであり、勤行のあとはさわやかな気持ちになりました。午後よりの帰敬式では仏の子としての宣誓をさせていただきます、立派な法名をいただきました。付けていただいた法名には、いわれと引用された経典が書かれており、不思議なご縁を感じずにはいられませんでした。夕食後はオリエンテーションと教導の松本先生より三帰依のお話があり、仏の教えをわかりやすくお教えいただきました。翌日はメインイベントのお磨き奉仕でした。阿弥陀堂の大きな仏具を、わらを用いて数人がかりで磨かせていただきました。「この仏具はずっと昔からこうやって数多くの門徒の手で磨かれてきた」と思うと、11月のどんよりした天気でしたが、磨き終わるころには心も体もあたたかくなっていました。知り合いのいない1泊2日の本廟奉仕でしたが、終わるころには皆さんが旧知の仲のようになることができ、また自分自身を振り返る機会となり大変いい経験をさせていただいたなど、これも仏様のお導きであったと思える2日間でした。





春のつどい

長浜別院大通寺にお参り、
みんなでほっこくがま陶芸体験

2017年2月19日(日)午後1時半

午後3時半終了予定



大通寺本堂で
みんなで正信偈を
お勤めします

参加費 ひとり
500円
(大人は一人800円)

自分の陶芸作品を
作ってみよう♪
親子での参加も
大歓迎です!!

長浜黒壁の
ほっこくがまで
陶芸体験～
こねこね



★当日の持ち物★
お念珠 お勤めの本
水筒 ハンカチ
汚れてもよい服装
(エプロンなど)

詳細はお寺に
チラシ・申込書が
ありますので
お尋ねください♪

※作品の引渡しは2017年5月
6日(土)明樂寺にて行う予定で
す。蓮如上人御影道中お立ちの日です。

すでにご案内のとおり、青少年部では「春のつどい」を計画しています。長浜別院に集合し、お勤めの後、黒壁ほっこくがまにて陶芸体験を行います。なお、未就学児の参加の場合は必ず保護者の付添をお願いします。

準備の都合上参加申し込みの締め切りは1月15日です。たくさんのご参加お待ちしております。

あなたも歌ってみませんか!

大募集

「24組同朋のつどい」で大合唱

2017年6月11日(日)に木之本スティックホールで歌います。

年齢・経験は問いません

24組では、2017年6月11日(日)に木之本スティックホールで「組同朋のつどい」を開催します。その時に混声合唱団で佛教讃歌などを歌う予定です。これから当日の発表まで数回練習会を持ちます。年齢・性別・経験は問いません。どなたでも参加していただけます。また、練習に参加できない方には自宅で練習ができるようテープを用意しております。一緒にスティックホールの舞台上で歌いましょう。曲目や練習計画については、申し込み時にお知らせいたします。

お問い合わせや申し込みは美濃部組長(82-3851)までお願いします。

真宗教団連合滋賀県支部主催

「真宗のつどい」のご案内

真宗教団連合滋賀支部主催の「真宗のつどい」が下記のとおり開催されます。

お誘い合わせてご参加くださるようご案内いたします。

- ◇日時 2017年2月5日(日)午後1時より
- ◇会場 野洲文化ホール 野洲市小篠原 2142 電話 077-587-1950
* JR野洲駅下車南口から徒歩3分 駐車場は最寄りの有料駐車場をご利用ください。
- ◇講師 藤田ジャックリン氏
[略歴]パリ生まれ。9歳の時、交通事故で両親と死別。13歳の時、フランス語訳の「歎異抄」に出会い、親鸞おじさまに会いたいと来日。爾来50年、念仏の一道を歩まれる。
- ◇講題 「親鸞さまとの出会い」